

志賀原子力発電所 2号機

非常用ガス処理系活性炭フィルタ加熱用ヒータの不具合について

志賀原子力発電所 2号機（第 3 回定期検査中）において、2018 年 9 月 21 日（金）19 時 17 分、非常用ガス処理系※¹の A 系ヒータ※²の異常を示す警報が発生しました。状態を確認したところ、運転していた A 系ヒータのアフタヒータ (A) ファンが停止していたため、予備の B 系に切り替えて運転しました。

また、停止した A 系のアフタヒータ (A) ファンを予備品と取り替えました。

調査の結果、アフタヒータ (A) ファン電動機の軸受部の回転不良により、ファン電動機の保護装置が作動し、停止に至ったものであることを確認しました。

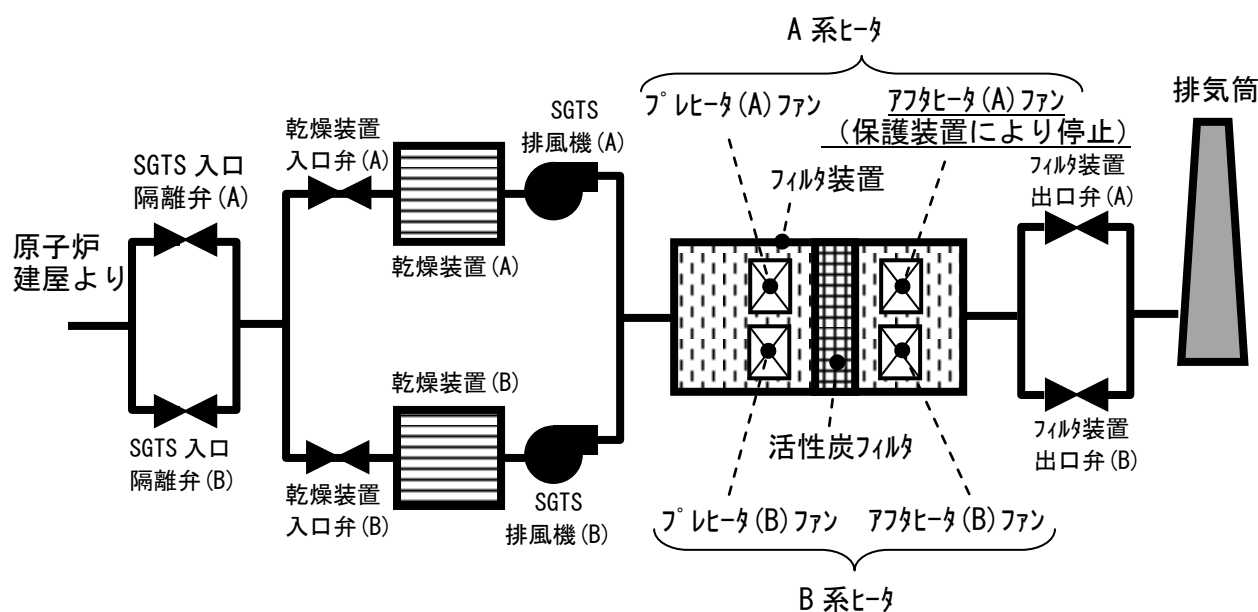
なお、外部への放射能の影響はありませんでした。

※ 1 非常用ガス処理系 (SGTS) :

万一の原子炉建屋内の放射性物質放出時等に、建屋内の放射性物質を活性炭フィルタなどで除去することにより、放射性物質が直接外部に放出されることを防止するための設備。

※ 2 ヒータ :

活性炭フィルタの性能を維持（活性炭のよう素吸着性能が空気中の湿度により劣化するのを抑制）するために活性炭フィルタの前後にファン付きのヒータを 1 台ずつ設置。（プレヒータ (A) ファン、アフタヒータ (A) ファン）



非常用ガス処理系 系統概要図